

# あきたのそごちからとは？②

1年間、湊城西小学校の取組を伝えてきましたが、本通信のまとめとして、湊城西小学校の先生方に「あきたのそごちからとは？」というアンケートを行いました。



今号では、前号に続き管理職の先生方が考える「あきたのそごちから」についてお伝えします。

## 教頭先生に聞く「あきたのそごちからとは？」

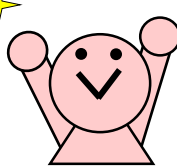
秋田の教師がつくり上げてきたスタンダードな授業を、**時代の変化に合わせて常にアップデート**していこうとする**“情熱”**これが秋田のそごちからだと思います。目指したいのは、「貧弱な学力」から**「たくましい学力」**へ。



湊城西小学校3年生作  
「算数の達人 平塚教頭先生」



授業づくりについて、教師になってからずっと模索し続けているなあ。



「校内研修」等、研修に参加して研鑽を積むことが、アップデートにつながっているね。



## 校長先生に聞く「あきたのそごちからとは？」

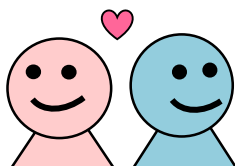
秋田県は授業改善に向けて、研究授業と諸調査の結果分析の両方を大事にして**研修・努力**をしてきています。そして、学校と市町村教育委員会と県教育委員会と各地区の教育研究会が、それぞれの立場・考え方を尊重して**連携し、信頼**関係を高められました。この**「研修」「努力」「連携」「信頼」**があきたのそごちからになっているのではないかと考えています。



湊城西小学校6年生作  
「優しい笑顔の 高橋校長先生」



研修・努力で授業改善が図られてきているね。



連携、信頼があるから「チーム秋田」で取り組めているね。



## 私が見つけた「あきたのそごちから」

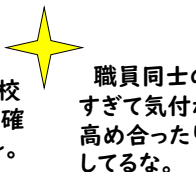
**「つながる」**  
・施策とつながる  
・職員がつながる  
・学習指導と子どもがつながる  
・地域とつながる  
湊城西小学校の職員として勤務した一年間で感じた“秋田のそごちから”は、やはり**「つながる」**強さです!! (\*第5号参照)



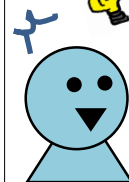
湊城西小学校5年生作  
「いつも優しい 難波先生」



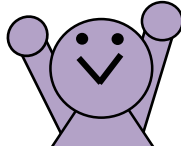
秋田県、能代市、湊城西小学校も同じところを目指しているよ。確かに施策がつながっているな～。



職員同士の「つながり」かあ。当たり前すぎて気付かなかったけど、支え合ったり、高め合ったりする雰囲気をみんな大切にしているな。



既習事項や他教科とのつながりを意識して授業づくりすることを、先輩方から学んだなあ。



地域の方にはいつもお世話になっているなあ。ふるさとを愛する子どもたちを育てたいな。



**「当たり前」にしてきたことに、実は価値があったんだね。**

## 難波指導教諭のつぶやき～1年間の研修での学び～

1年間の長期研修で私が見つけた秋田県の良さは「つながる」ということです。先生方は意図的につながろうとされています。何のためにつながるのが、それは「目指すべき児童・生徒の育成のため」です。子どもたちの成長は先生方共通の“願い”です。この願いを実現しようと思えば、思考錯誤される中で、「つながる」ことの必要性や有効性を感じ、あきたのそこちからとして根付かせていったのだと感じました。そして、先生方自身が研鑽を重ね、力量を高めようと弛まぬ努力をされています。子どもたちの成長のために、という「目的」を明確にして共有することの大切さを改めて学びました。

また、秋田県の取組を知ることで、岡山県の良さを再確認することができました。「時代の変化に合わせて子ども達にどんな力が必要なのかを考え、様々な考え方や取組を柔軟に取り入れていく。」ICTの環境整備が全国的に見ても進んでいること、非認知能力や夢育の育成に力を入れていること…、「一歩先」を目指した岡山県の取組が岡山県の良さ（強み）だと私は思います。

岡山県に戻ったら、長期研修での学びを活かし、何のために「一歩先」を目指すのか先生方と願いや目的を共有し、「つながる」ことをより大切にしていきたいです。そして、チーム岡山県の一員として、子どもたちの成長のために何ができるかを考え、成長し続ける教員でありたいです。



## 動画版 あきたのそこちからに学ぶの紹介

今年度、短期研修派遣として県内から8名の先生や指導主事などが、1週間、秋田県大館市と能代市の小・中学校において研修し、秋田県の取組を学びました。

本動画は、派遣者へのインタビューをまとめた動画です。質問内容は、「授業の特徴」「単元計画のイメージ」「教師の姿勢」などの学力向上に向けた取組や、授業改善に向けた学校風土の醸成等に関するものです。

県総合教育センターの「e研修所おokayama」内の義務教育課のページに掲載する予定です。（詳しくは、後日、お知らせします。）各校での校内研修等にも活用できます。秋田県の取組の具体をぜひご視聴ください。



(写真上・下) 動画のイメージ

3年目を迎えた本通信は、今年度、能代市編として主に能代市立湊城西小学校の取組を紹介しました。他県や他校の取組を知ることで、当たり前だと思っていたことの大切さに改めて気付かされたり、もっとできることがあるかもしれないと考えたりすることがあったのではないのでしょうか。

この通信が、岡山県と秋田県をつなぎ、各校において「やってみよう。」と新たな取組のヒントになれば幸いです。

本通信、「『あきたのそこちから』に学ぶ 能代市編」は、今年度、15号まで発行し、各学校へ送付しました。岡山県教育庁義務教育課のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。



義務教育課 ホームページ

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/322/>

